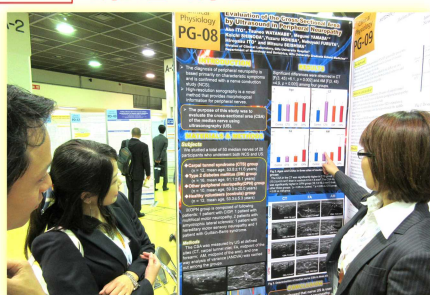


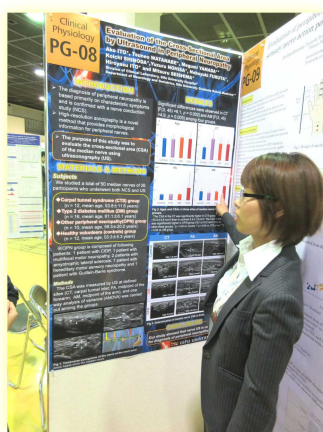
第32回
成功させよう!

世界医学検査学会

メインテーマ 国境なき臨床検査の革新—基礎から応用まで—
会期 8月31日～9月4日



9月2日に神戸市で開催された「第32回世界医学検査学会(以下、IFBLS2016)」に参加してきました。
私にとっては初の国際学会での発表でした。今回の発表形式は英語によるポスター形式でした。馴れない英語であった為に作成には困難をきたしましたが、先輩のご指導により無事、形にすることが出来ました。IFBLS2016の参加国は日本を含め34ヵ国で、アジア諸国やアフリカ、欧米と多岐に渡り、参加当日は多国籍の発表を自由に閲覧すること出来ました。発表分野は血液学、微生物学、臨床生理学、生化学、病理学など全15分野に分かれ、ポスターは創意工夫が熟された形で掲示されており、閲覧者の目を引くものが並びました。参加者たちは各々で自由に議論を交わしており、国を超えた医療現場のやり取りが見受けられました。今回のIFBLS2016を通して感じたことは、何事も経験を経験することが自分を成長させる糧になるということです。国際学会なので英語による発表に少し躊躇しましたが、次はいつ来るか分からないチャンスだと思い、演題登録をしました。発表を終えてしまうと、次への課題が見えてくるので得るものは多かったと思います。そして、国際交流を交えることも一つの経験になると思いました。また今回は「第65回日本医学検査学会」「第63回日本臨床検査医学会学術集会」も同時開催だったので、そちらの発表も見に行きました。自分が興味



ある分野の発表は、刺激になりとても有意義な時間を過ごすことが出来ました。今後も学会等に積極的に参加し、自分の知識を高めていきたいと思っています。

最後になりましたが、今回のIFBLS2016の参加にあたり、発表のご指導を頂いた検査部の皆様に心より感謝を申し上げます。

岐阜大学医学部附属病院 検査部

伊藤 亜子



社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 鎌田 千晶

私にとって全国規模の学会での発表は初めてであり、不安と緊張、発表の機会を頂いた責任を感じ、大変貴重な経験となりました。

今回は、心臓超音波検査で疣腫と腫瘍との鑑別が困難であった症例について発表しました。依頼目的は不明熱の原因検索でしたが、腫瘤の大きさ・形状・付着部位より鑑別に難渋しました。検査施行前の患者状態、来院時検査所見、既往歴等をふまえ超音波検査を行い、臨床側との情報交換により迅速に治療に踏み切ることができた症例であったと思います。また、学会で行われた講演会では「考えながら行う心エコー」の重要性について学びました。依頼目的を捉えて、目的達成と問題解決のために考え、得られた情報を整理し臨床側へ報告していくことが重要であると思います。

「検査施行前の情報収集」「考えながら行う心エコー」「臨床との情報交換」の実践によって、困っている患者様を解決へ導く近道になると感じました。

今回の学会に参加し、日々研究や検査に真剣に取り組む姿勢を肌で感じることができました。私も臨床検査技師として社会に貢献できるように精進していきます。

岐阜県総合医療センター 安藤航平

今回、*Corynebacterium kroppenstedtii* 感染による肉芽腫性乳腺炎の1例を発表いたしました。肉芽腫性乳腺炎は稀な良性、炎症性疾患で、近年 *C. kroppenstedtii* 感染との関連が報告されています。本症例発表のポイントは、抗菌薬投与下において検出に苦慮したことと、*C. kroppenstedtii* の細菌学的検査の検討です。本菌は脂質好性が特徴で、培養には Tween80 などの脂質が必要です。治療にはマクロライド系やニューキノロン系などの脂溶性抗菌薬が有効とされ、本症例では臨床的に効果がないとされている水溶性抗菌薬（ペニシリン系）が投与されていました。ペニシリン系抗菌薬は *in vitro* では感受性を示すので、



この影響が菌検出に苦慮した要因と考えています。

本学会と第32回世界医学検査学会が同時開催されており、国際性のある大規模な学会となっていました。今後も知識や技術向上のため積極的に学会活動に参加していこうと思っています。

中津川市民病院

中津川市民病院は、東濃東部の中核病院として地域の急性期医療を支えながら、地域連携や臨床研修病院としての役割を果たすべく日々邁進しております。最近では、



当院のドクターカーがマスコミで取り上げられることもあり、皆さんのお目に触れる機会が増えたようにおもわれます。

当院検査科は、常勤 17 名、臨時職員 3 名で、検体部門、輸血部門、細菌部門、病理部門、生理検査部門を構成しております。どの病院でも当たり前になりつつありますが、DM指導、NST、ICT等の委員会活動も積極的に行っております。今年 5 月から循環器医師による動脈硬化外来が隔週曜日で設けられ、それに伴い血管超音波検査や皮膚組織灌流圧検査（SPP）の件数が増え、変化していく臨床の要望に応える努力をしております。

少人数で様々な業務をこなす中で、専門性を高めることと柔軟な対応をしていくことでうまくバランスを取り、多職種スタッフや患者様に必要とされる検査科を目指しています。幅広い年齢層ですが、なんでも言い合える職場環境ですので、古株の経験と斬新なアイデアを持った若い力を融合させ、職場の発展に繋がっていきたいとおもっております。

秋の味覚栗きんとんの美味しい季節となりました。紅葉がてら、中山道宿場町のある中津川へどうぞ起こしてください。

秋山 美貴



羽島市民病院は昭和 30 年 10 月に開設し、昭和 61 年 4 月には国民保険直営羽島病院から羽島市民病院へと名称を変え現在に至っている。当時の木造建築や昭和 51 年の豪雨災害を知る看護師は時代の変化を物語っており、

羽島市民病院

退職後に至っても嘱託職員として勤務を続けている。長く勤務を続けていられるのは

羽島市民病院がこれだけ職員に愛されていることへの表徴として感じ取ることができる。人間関係というか周囲の人たちとの関係が良くストレスも少ない職場であると思う。「心の通う医療を通じて地域に貢献します。」この病院理念を通じ地域の人たちに愛される病院を目標とするためにも、働きやすい職場環境をつくり出すことに常々心がけている。医療連携、安全で質の高い医療、効率的な運営、医療人の育成に留意するには、まず働きやすい職場環境をつくらなくてはならない。かのナイチンゲールは彼女自身聡明で機知に富み美人であるため周りからも好かれる人柄であった。やはり自分達が幸せにならないと人に幸せを与えることが出来ないのでは。このことを忘れず臨床検査科もチーム連携を大切に明るい職場環境をつくりながらそれぞれが職責を果たしている。臨床検査科は現在スタッフ 19 名（男性 7 名、女性 12 名）が在籍し若い世代が中心となり全ての事に全力で取り組んでいる。業務以外では登山部・フットサル部・マラソン部など病院全体としての活動に参加し気分を一新している。そしてそれが次の機動力へのバロメーターとなっている。

ところで皆さんは羽島市のことをどれだけご存知でしょうか。羽島市は県内で唯一新幹線駅がある自治体で名神高速道路のインターチェンジもあることから、当市を指して岐阜羽島と呼ぶことも多い。だがそれはただの通過点に過ぎない。そう思われる方も多いと思うが意外とそうでもない。昨年の 11 月にはコストコがオープンレインターに隣接していることもあり愛知・三重・滋賀からも多くの方が来店されている。私も利用しているひとりであるが特にレギュラーガソリンの安さには驚いた。9 月 16 日現在でリッター 107 円である。豊富な品揃え、一つひとつの量の多さには驚かされるが何を買っても間違いはない。しかも内税である。リピーターが多いのも当然でありテーマパーク感覚で楽しめる魅力を備えているのであろう。私は 35 年以上羽島市に勤務し当市には何かとお世話になっているが、あの羽島市南部田園風景が驚くほどの変化を遂げたのには驚いた。だが羽島市はそれだけではない。美濃竹鼻まつり、なまず祭り、竹鼻ふじまつり、濃尾大花火など季節に応じて見所がいっぱいある。写真を趣味としている方は是非竹鼻ふじまつりを見にきてほしい。なかでも濃尾大花火大会のフィナーレで打ち上げる 5 連発の 2 尺玉はまさに圧巻である。さすが尾張第一と言われるだけのことはある。それと鰻が旨い。「なまずや」と「魚勝」が特に美味しい。今は鰻が高騰しており、魚勝では鰻のかわりに近畿大学が開発した鰻味の鯉が好評である。鰻と比べあっさりとして脂っこくないのが実に美味しいと皆口をそろえる。羽島市は住んでよし、訪れてよし。通過点とするにはもったいないところである。是非足を止めて旅の手帳に思い出を加えてください。

高木 康雄

平成 28 年度
秋季拡大研修会

テーマ『肺炎』

日時) 平成 28 年 11 月 13 日 (日)

9:00 受付開始

会場) セラミックパークMINO 1F 国際会議場

《臨床微生物部門》

『たかが肺炎 されど肺炎

ー肺炎ガイドラインと耐性菌ー』

東濃厚生病院 柴田 尚宏先生



《染色体・遺伝子部門》

『迅速・確実な肺炎診断への挑戦』

江南厚生病院 河内 誠先生

《市民公開講座》

『睡眠と健康ーぐっすり眠って認知症予防ー』

中部大学 宮崎 総一郎先生

第 55 回
岐阜県医学検査学会

日時) 平成 29 年 3 月 12 日 (日) 8:45 受付開始

会場) セラミックパークMINO

1F 国際会議場

催) 一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会
担当) 東濃地区

発行所 (一社) 岐阜県臨床検査技師会

発行責任者 兼子 徹

〒500-8384 岐阜市藪田南3 丁目5 番地 10 コスタ岐阜県庁前 603 号

TEL 058-275-5596 FAX 058-213-0220

編集者

高崎 昭彦

松浦 康博

種村 久子

E-mail

giringi-office@giringi.jp